

神田公民館だより

平成30年11月発行
【第8号】

田村地区の情報満載！

わたしの田村



発行：平塚市立神田公民館 平塚市田村 3-12-5 電話 55-0239 FAX 51-1364

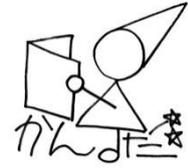
神田公民館外壁等修繕のため、2月下旬まで駐車場の約半分（東側部分）が利用できません。
また、公民館西側の出入口を閉鎖します。ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

主催：神田中学校区子ども読書活動推進協議会 共催：神田公民館

無料

大人のための うれしい読み聞かせ♪聞かせ屋。けいたろうさん 講演会

けいたろうさんによる“大人も癒される読み聞かせ”と“読み聞かせの基礎講座”。
日頃、知りたいと思っていることにもお答えいただけます。
また、けいたろうさんの活動についての楽しい話や講演後のサイン会もあります。



神田中学校区
子ども読書活動
推進協議会
マスコット
キャラクター
「かんだちゃん」

- ・日時 12月5日（水）10時～11時30分
- ・場所 神田公民館 集会室
- ・対象 神田中学校区にお住い又はお勤めの、図書ボランティア活動や絵本に興味のある方
- ・定員 40人（先着） ※お子様の同伴は、ご遠慮ください
- ・持ち物 絵本1冊（お持ちでない方は、お貸しします）
※読み聞かせの基礎講座で使用します。
- ・申込み 11月28日（水）までに直接又は電話で神田公民館へお申込みください。

【講師プロフィール】元保育士。夜の路上で、大人に絵本を読み始めた、聞かせ屋。延べ4か月の渡米公演を経て、読み聞かせ、絵本講座、保育者研修会で日本全国を駆け抜けている。著書絵本「どうぶつしんちょうそくてい」「おっぱいごりら」（アリス館）、「まいごのたまご」（角川書店）など。

【神田公民館主催】

お飾り教室



毎年恒例のお飾り教室を今年も開催します。お正月に飾るお飾りを手作りしてみませんか？初心者の方や女性の方、大歓迎！！

- 日時 12月22日（土）9時30分～12時
- 定員 15名（先着順）
- 指導 福島 神田公民館長
- 材料費 お申し込み時にお問合わせください。（昨年は1,500円ですが値上がりする可能性があります）
- 申込み 11月19日（月）からお電話で神田公民館にお申込みの上、開催日前日までに材料費を公民館窓口でお支払ください。
- 場所 神田公民館集会室
- 持ち物 藁（わら）が切れるはさみ・ペンチ



昨年度の様子

ガイドと巡る平塚の文化資源 第6回「中世の神田を訪ねて」コース

主催 ひらつか文化財ガイドボランティア協会（協力 平塚市教育委員会）

- 【日時】11月25日（日）9:30～12:30 ※雨天決行（荒天中止）
- 【集合】9:30・神田公民館（平塚市田村 3-12-5：最寄バス停：「田村車庫」から徒歩6～7分
- 【コース】神田公民館～条坊制跡～御霊神社～神田寺～六兵衛土手～鷹落橋～十王堂～田村の渡場跡～田村の館跡～妙楽禅寺・駒返橋（解散） 歩行距離 約4.8km
- 【参加費】300円（中学生以下無料・当日納入）
- 【申込み】はがき、FAX又はメールにコース名・参加人数・全員の住所と氏名を記入し下記まで
はがき：〒254-8686 平塚市役所 社会教育課（この送付先で届きます）
FAX：34-5522 メール：k-shakai@city.hiratsuka.kanagawa.jp
- 【締切り】11月18日（日）（当日消印有効）※問合せ先 社会教育課 電話 35-8124（平日 8:30～17:00）

自らの特技を活かしたい人・団体 ✕ 講師を探している地域団体・サークル

知恵袋バンク

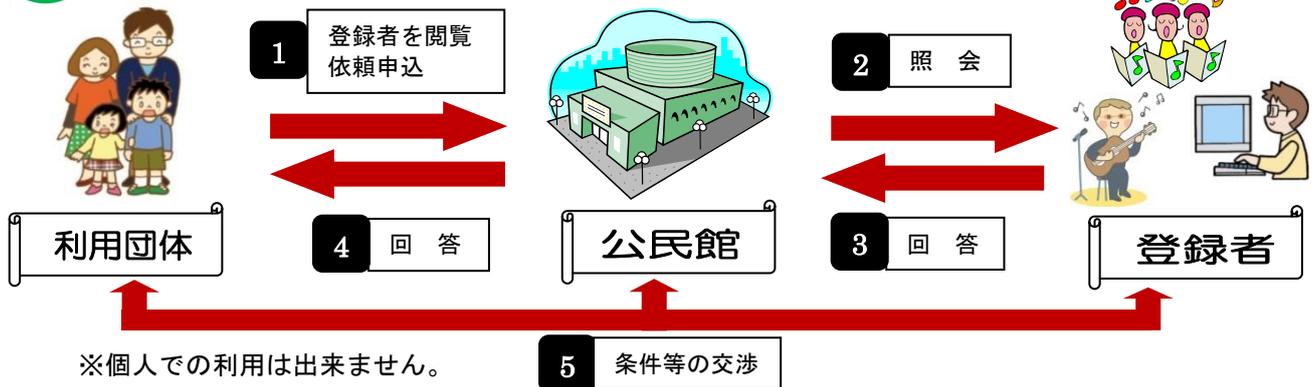
公民館の地域活動
サポート
人材登録制度

地域の団体・サークル活動で、『〇〇活動に協力してもらいたい』、『こんなことを教わってみたい』と思うこと、ありませんか？ 講師等をお探しの際は、「知恵袋バンク」が利用できます！

登録内容は、ウェブやお近くの市立公民館窓口で閲覧できるようになっています。ぜひ、ご活用ください。また、自分の特技を講師として活かしたい方も募集中！ 神田公民館までお問い合わせください。

知恵袋バンク - ご利用の流れ -

平塚市 知恵袋バンク 検索



【田村周辺の地を訪ねる 8】 神田地域の社寺造営と神輿製作1 明王太郎

明王太郎は奈良時代に良弁と共に大山の地に住まいして、大山寺を建立したと云われる宮大工である。その子孫の手中明王太郎は、相模の国を中心に大山近郊の寺社の造営普請や神輿の制作を精力的に手掛け活躍をした。明王太郎景直により、安永四年（1775）田村の八坂神社の社殿が建造された。明王太郎景元により、大神よりきの寄木神社の神輿が明治十二年（1879）6月に白木造り（白神輿）に仕上げられた。その後、昭和十五年に景元の息子の明王太郎かひづたか景堯により大改修がなされ漆塗りの神輿に生まれ変わった。横内の御霊神社の神輿も明王太郎景元によって明治二十六年（1893）素木の神輿が造られた。明治三十一年（1898）漆塗りが行われ塗神輿に変わった。明王太郎景元は神輿の出来栄を一つ一つ評価した中でこの神輿を「上作なり、最上と知るべし」と書き残している。屋根の上の飛龍の彫刻は、御霊神社の神輿のみである。八坂神社の屋台三基の内、中町（横宿）の屋台は江戸時代末期のもの推測され、古老の話によると明王太郎の作と云われる。

（神田郷土史研究会 平井 晃）



田村八坂神社



大神寄木神社神輿



横内御霊神社の神輿



田村中町（横宿）の屋台

公民館の年末大清掃 にご協力を！

12月1日（土）9時30分から、恒例の公民館大清掃を実施します。公民館及び体育館を利用されている団体、サークルの皆様のご協力をお願いします。※お願いする団体の皆様には、別途お知らせします。

